

中期目標(素案)の策定に関するご意見をいただきました。

第2回評価委員会 委員発言による論点要旨

<p>地域に必要な二次医療提供体制の確保について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域クリニックとの関係では、地域連携室の対応が非常に重要。地域連携室の充実を図っていただきたい。 ・「紹介率」は市民目線からではわかりにくい。「紹介件数」と併記いただきたい。 ・地域に診療科がないことによる患者流出を少しでも抑制する意味でも専門診療科の充実は重要。
<p>医療水準の向上について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「研修体制の充実」、「専門資格取得の支援」は、看護師の離職防止において一番重要な部分である。各職種の具体的な目標を定めていただきたい。
<p>患者サービスの一層の向上について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中期目標は、病院の良さをアピールする面もあることから、セカンド・オピニオンなど取組事項の充実についても記載するべき。 ・インフォームドコンセントは、患者の権利擁護において大変重要な部分である。患者の理解度と意思決定を支えるという意味で取り組まれない。 ・「改めて認識させ」という言葉はキツイので、表現を修正いただきたい。 ・ホテル業界のリッツ・カールトンでは、「お客様へのお約束」と「従業員へのお約束」の2通りのクレドがある。病院スタッフへの約束・覚悟を中期計画に反映いただきたい。 ・「患者満足度調査」が年1回の実施というのは、圧倒的に少ない。調査内容を検討の上、全患者対象に実施するなど頻回に実施するべきである。 ・市民との垣根をもっと低くするため、業務支援などに対するボランティアの活用を検討されたい。
<p>地方独立行政法人の内部統制について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の不正を含めた内部管理の強化を図る上で、「内部通報制度」は非常に有効な手段である。法人化に伴い新たに策定すること。 ・最近、病院がサイバー攻撃の標的になっている傾向にある。名張市として法人に対し、サイバー対策について記載するべきである。 ・「第三者評価」を見据えた内部統制を段階的に行うべきである。

資料1

<p>効率的かつ効果的な業務運営について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「職員満足度調査(従業員満足度調査)」を実施するべきである。 ・独法化に伴い、新たに従業員のメンタルヘルス相談体制について構築すること。
<p>財務内容の改善に関する事項について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・採算の合わないところを採算の合うところでカバーしていくという「経営マインド」は非常に重要である。 ・市のお金を使う以上、きちんとした経営は市民から求められるところである。公立病院の経営が悪い理由は、「経営マインド」である。「経営が悪ければ、どこからかお金が来る。」という意識を取り除くべきである。 ・名張市は、法人が持続的な医療提供が行えるよう、理想を明確にし、責任を持つことが大事である。 ・中期目標(素案)は、重要な部分を網羅してあるが、最優先すべき点に欠ける。最優先にすべき事項を明確に記載するべきである。 ・患者数を増やすのはマーケティング。伊賀地域から、たくさんの患者が流出している。流出への対応こそが、優先事項であり、このような対応こそが「経営」であり、「運営」ではできない。 ・一般的に、公立病院の医事は弱い。プロパー職員を採用し、専門性の向上を図るべきである。 ・医師会としても患者の流出は抑えていただきたい。 ・大きな手術や高度医療の提供以外における患者流出を抑えるべきである。市民へきちんと説明し、伊賀地域で完結できるような医療提供を高めていくことが大事である。 ・潤沢な資金で経営されている医療機関は、余裕があるように患者には映る傾向にある。収益性を高めるためにも、まずは看護師を確保するべきである。 ・看護学校が附属機関であるという優位性から、学生に支持される就労環境の整備を行い、看護師確保を行っていただきたい。
<p>その他について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人化後は、毎月理事会が開催され、経営に関する議論がされる。こうした意味においても、月次決算を行える体制を進めていくべきである。